



聞いてよ！  
伝次郎

心温まる話題を  
もっと見つけて

震災や原発事故に苦し

む私たち県民にとって、ルーマニアのように遠く離れた国からも寄せられる応援は励みになりますね。新聞には震災、原発



事故に関する記事が毎日たくさんあって、こうした心温まる話題もあります。これから「うれしいニュース」をどんどん見つけてください。(地域交流室)

## うれしかった「あぶくま抄」

おおもり かずと  
大森 航斗君(猪苗代町・猪苗代中2年)

僕はコラムを写し取る学習の中で、とてもうれしいことがありました。それは、9月20日付福島民報の「あぶくま抄」で読んだのですが、県立美術館に並ぶルーマニアから贈られた絵についてです。福島は今、原発事故の風評被害で、日本の中でさえ一部の人から特別な目で見られています。しかし、そんな時、ルーマニアから応援のメッセージが届いたということを知り、とてもうれしくなりました。

記事によると、ルーマニアも地震国だそうです。まずは災害が起こらないことを願いますが、万が一災害に見舞われた時には、国の中だけでなく世界中が一体となって助け合うことが大切だと思います。こんな世界が現実になれば良いと考えています。

僕に希望をもたらしてくれたコラムをこれからも写し取っていきます。

ジュニア新聞では子どもたちの意見や質問、相談を受け付けています。〒960-18602 福島市太田町二三ノ一七、福島民報社地域交流室「聞いてよ」伝次郎」係まで郵送するかファクス024(531)4117、メールlife@minpo.ne.jpで送ってください。

### 意見や質問 受け付け中

文章は四百字以内で、短い感想や質問も受け付けます。必ず住所、氏名(ふりがなも)、年齢、学校名、学年、電話番号を書いてください。採用の場合、伝次郎オリジナルグッズをプレゼントします。問い合わせは地域交流室 電話024(531)4145へ。